

No	区分	項目(大分類)	課目	手法	教育担当	コマ	概要	
1	基礎 コース	気象情報	気象情報の見方・活用方法	座	気象	1	災害発生による物理的・社会的被害の影響について理解するとともに、気象情報の見方や活用方法について学ぶ	
2		災害関連法制	災害法体系及び地域防災計画	座	県(復興防災部)	1	災害対策基本法・災害救助・地域防災計画の概要と法的位置づけ、関連等を学ぶ	
3		災害危機管理概論	実践的危機管理について	座	岩大	1	危機管理とは何かを理解し、災害等における初動対応の重要性や災害対応組織、リーダーと参謀の役割等について学ぶ	
4		災害対応各論	災害医療活動		座	医科大	1	災害現場における医療活動やその実施体制等について学ぶ
5			大規模災害発生時の初動対応		座	国土	1	東日本大震災での対応を例として、国土交通省東北地方整備局が実施した災害への対応について学ぶ(道路啓開、リエゾン、テックフォース他)
6			消防の活動		座	盛消	1	災害時における消防の役割と活動について学ぶ
7			警察の活動		座	県警	1	災害時における警察の役割と活動について学ぶ
8			自衛隊の活動		座	自衛隊	1	災害時における自衛隊の役割と活動について学ぶ
9			物流(ロジステック)		座	佐藤氏	1	救援物資の物流について、3.11での国、市町村、各機関との事例に基づき、その課題と対策について学ぶ
10			広域応援及び受援		座	県(復興防災部)	1	東日本大震災での広域的な応援・受援についての課題とあり方について学ぶ
11			避難所運営		座	佐々木氏	1	避難が困難な要援護者への対応と避難所の運営・管理について学ぶ
12		防災教育		座	県教	1	学校教育、社会教育における取り組み事例から防災教育のあり方について学ぶ	
13		災害情報・広報	災害報道		座	日報	1	災害時の住民への情報提供の方法、災害報道の課題とあり方について学ぶ
14			防災情報		座	県立大	1	災害時における防災情報収集・伝達等の手段や方法、その課題とあり方について学ぶ
15			災害における通信		座	NTT	1	災害時における他機関、住民との情報共有や広報のための手段、防災情報の収集等の課題について学ぶ
16		訓練マネジメント	実践的訓練とは		座	岩大	1	危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方及び実践的訓練をマネジメントする手法について学ぶ
						コマ数	計 16	1日の教育時間:1コマ85分で1日に4コマ実施(10:00~17:00)
17	実習 コース	応用実習	MM(マップマヌーバー)	演	岩大	2	MM(マップマヌーバー)の手法を演習を通じて学ぶ	
18			クロスロード	演	岩大	1.5	防災意識や判断力を養うための手法を演習を通じて学ぶ	
19			DIG	演	岩大	2	地域の防災力や脆弱性を把握する手法を演習を通じて学ぶ	
20			ケーススタディ	演	岩大	2	様々な状況の中で状況判断を行い、意志決定する手法をケーススタディの演習を通じて学ぶ	
21			図上訓練とは	座	岩大	0.5	図上訓練の種類の概要と目的に応ずる訓練の実施要領について学ぶ	
						コマ数	計 8	
22	総合 実習 コース	総合実習	情報処理・情報共有	座	岩大	1	災害対策本部において災害発生直後の被害予測の仕方、情報の処理、情報の提供等について学ぶ	
23			状況判断	座	岩大	1	発災後の限られた時間と情報の中で状況判断し、対応方針を決定するための考え方を学ぶ	
24			マニュアル説明	座	岩大	1	災害対策本部支援室等の各班の動き、業務の要領について理解する	
25			演習準備	演	岩大	1	市災害対策本部支援室を編成し、各班の演習のための準備を実施する	
26			予行演習	演	岩大 その他		図上訓練の実施要領について学ぶ	
27	合同図上訓練	演	岩大 その他	4	演習(ロールプレイング図上訓練)を通じて、総合的な災害対応能力を習得する			
						コマ数	計 8	

教育日数

基礎コース	4日
実習コース	2日
総合実習コース	2日

- * 1コマは85分
- * 科目、講師等については、変更することがあります。
- * コロナ感染症の状況によっては、日数等の変更があります。
- * コロナ感染症の状況によっては、中止する場合があります。

* 座:座学
* 演:演習

岩大:岩手大学
県:岩手県
県教:県教育委員会
自:自衛隊(岩手駐屯地)
県警:岩手県警察本部
盛消:盛岡消防本部
医科大:岩手医科大学
県立大:岩手県立大学
気象:盛岡地方気象台
国土:岩手河川国道事務所
NTT:NTT岩手支部
日報:岩手日报社